

5. 15 沖縄平和行進に参加して

博多支部 青年部長 山路 直人

5月12日から16日の5日間にかけて沖縄平和行進に参加してきました。今回は2回目の参加となりましたが、沖縄本土復帰50周年という節目の年に参加させて頂きとても貴重な体験となりました。

沖縄到着後、三単産結団式から始まり平和学習会が行われ、過去に沖縄で核ミサイル事故（訓練の最中）が隠されていたという話と、今現在でも核兵器が沖縄に存在するかもしれないという話を聞き非常に驚きました。

今回の平和行進はコロナ禍ということもあり行進は半日で8.7kmという距離でしたが、シュプレヒコールをしながら行進する際に沿道の現地の方々からの拍手や声をかけて頂いたのがとても心に残りました。全国結団式や復帰50年5・15平和と暮らしを守る県民大会ではたくさんの方の話を聞きました。基地問題や沖縄経済の課題等いろいろな視点からの話を聞き、沖縄が抱える問題は基地問題だけでは無かったということを知られました。

行進が半日しか出来なかったこともありたくさんの方々の視察をさせて頂きましたが、一番印象に残ったのがひめゆり資料館と旧海軍司令部壕の中に入って視察したことです。

ロシアのウクライナ侵攻で今現在でもガマや壕の様なところで生活を余儀なくされている方達がいるかと思うと非常に胸が痛むと同時に一刻も早く終結して欲しいと思いました。

三単産夕食懇談会では一人一人が今回の活動に対しての熱い思いや、今後の活動のありかたなどを考える非常にいい交流ができました。沖縄もちろんですが、各地方の青年女性部の方と話す機会ができ各地方の抱える問題なども聞くことができました。

今回で2回目の参加となりましたが前回参加したときには気づけなかった沖縄の問題や復帰50年でも50年前と沖縄は何も変わってないと沖縄の方が言われていたのが印象に残りました。何か少しでも沖縄が変わって行けるように全国の仲間と知恵を出し合い、これからもこの活動を続けていかなければいけないと思いました。